

令和5年度

生活習慣実態調査の結果報告



実施主体：健康かごしま21地域推進協議会
調査分析：名瀬保健所

調査の方法

対象

- ・ 小学校・中学校・高校・専門学校の学生
- ・ 保育所・幼稚園・子ども園の園児
- ・ 職場の健康づくり賛同事業所の従業員

期間

- ・ 令和6年2～3月

項目

項目	朝食抜き	喫煙	飲酒	睡眠
対象	3歳以上の男女	20歳以上の男女	20歳以上の男女	20歳以上の男女

解析：集計①＋集計②の合算

集計①

- ・対象事業所等に調査票を配付，回収し，集計。
- ・調査票は，特定健康診査「標準的な質問票」に準ずる。

集計②

- ・管内市町村が実施する特定健康診査質問票調査結果から集計。

結果(令和5年度調査)

➤ 調査票の配付箇所・回答数

	配布箇所	提出箇所	回答数
保育所・幼稚園・こども園	23	12	1,037
小学校	48	47	2,889
中学校	29	29	1,798
高校	5	4	897
専門学校	2	2	59
事業所	97	35	969
計	204	129	7,649

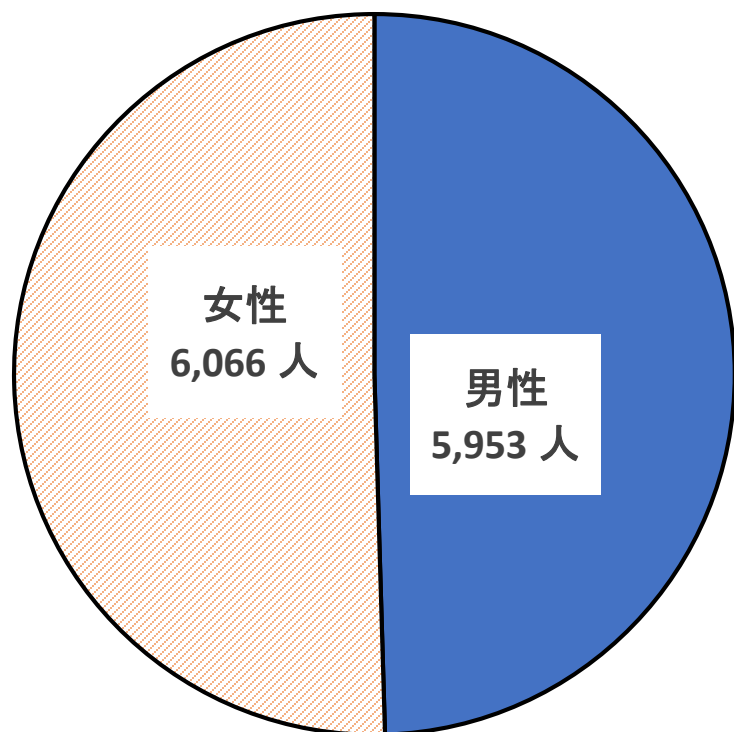
➤ 国保特定健診質問票調査結果回答数

	奄美市	宇検村	大和村	瀬戸内町	龍郷町	喜界町	総数
回答数	2,527	158	103	635	358	589	4,370

(40歳以上75歳未満)

属性(令和5年度調査)

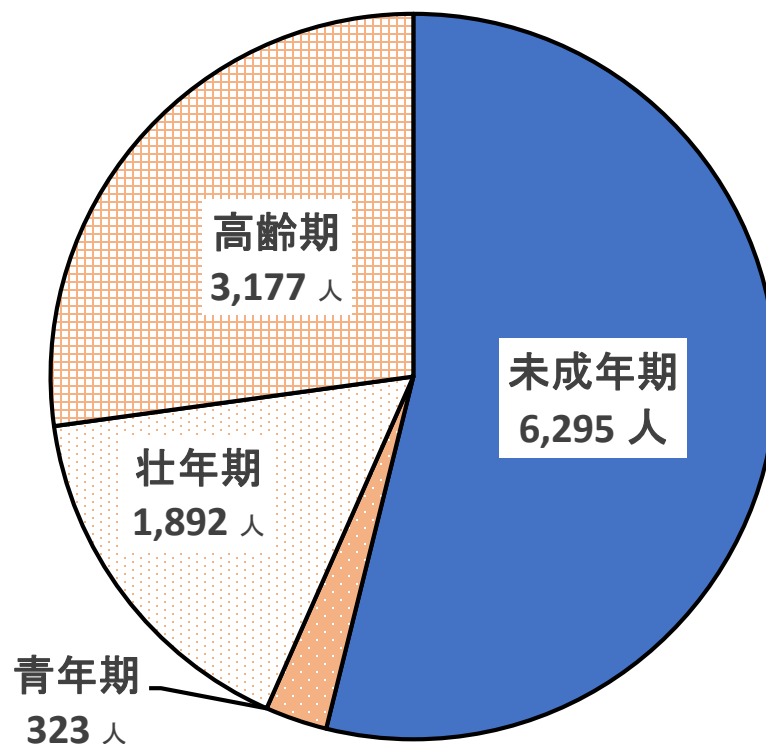
男女比



未成年期: 3歳以上20歳未満
壮年期 : 40歳以上65歳未満

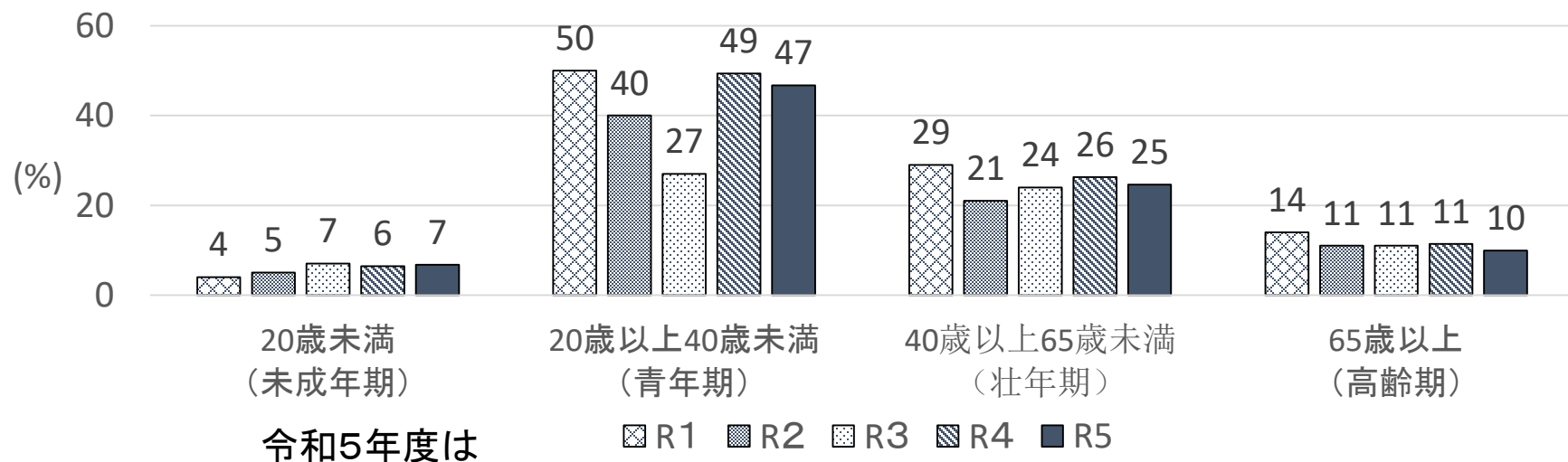
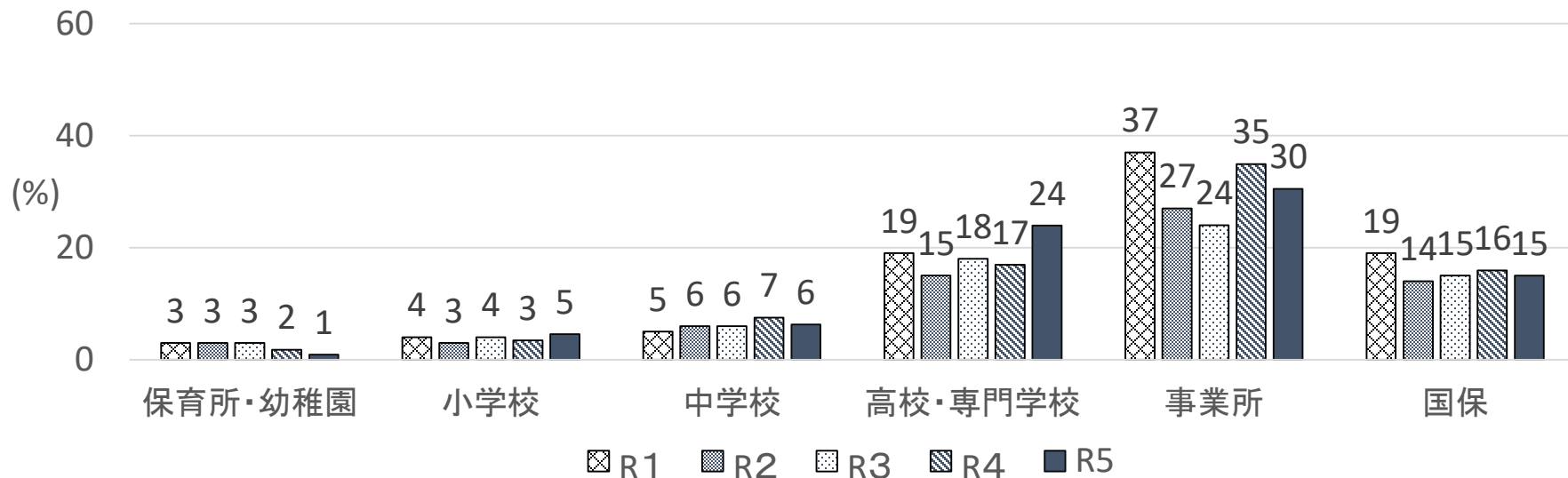
年齢構成比

※3歳未満を除く



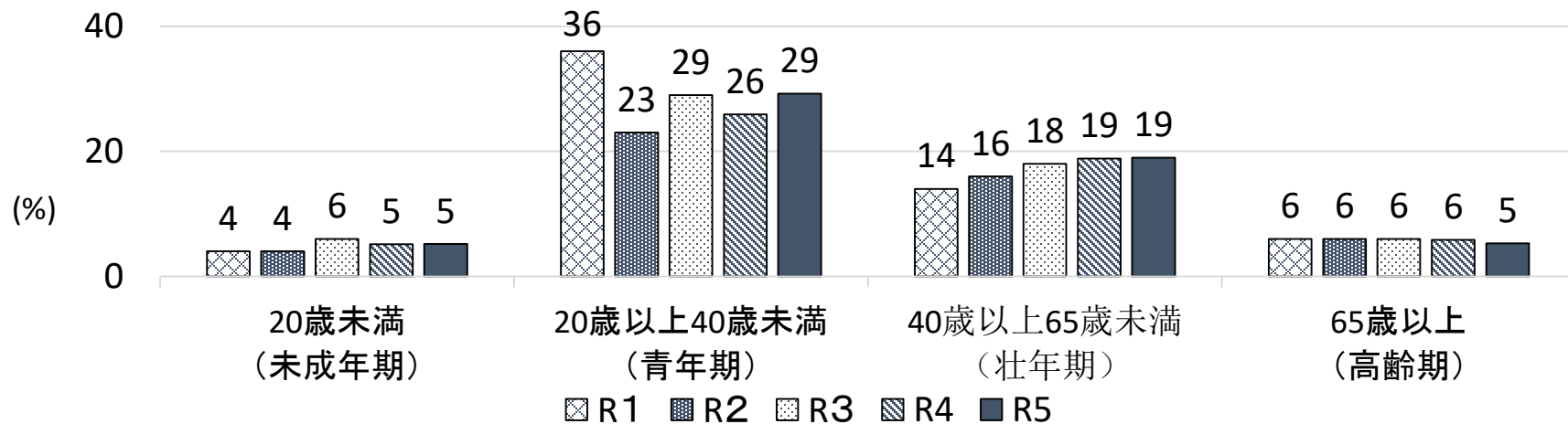
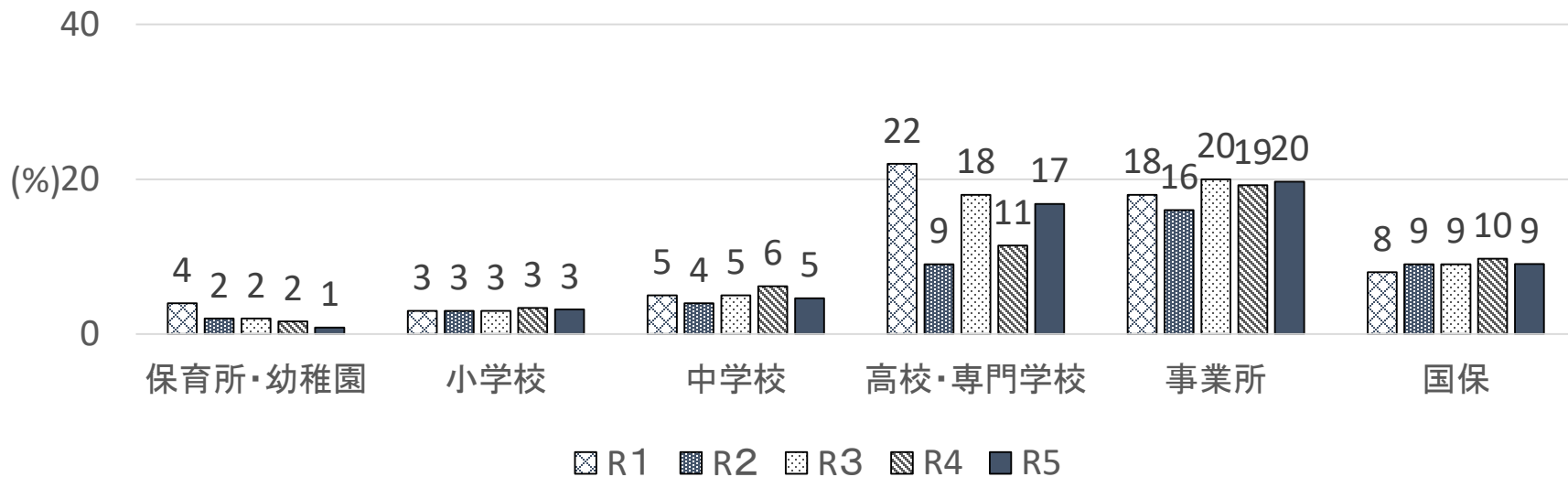
青年期: 20歳以上40歳未満
高齢期: 65歳以上

朝食を抜くことが週に3回以上ある(男性)



青年期の47%が朝食を抜くことが週3回以上ある
高校進学後、割合が増加

朝食を抜くことが週に3回以上ある(女性)

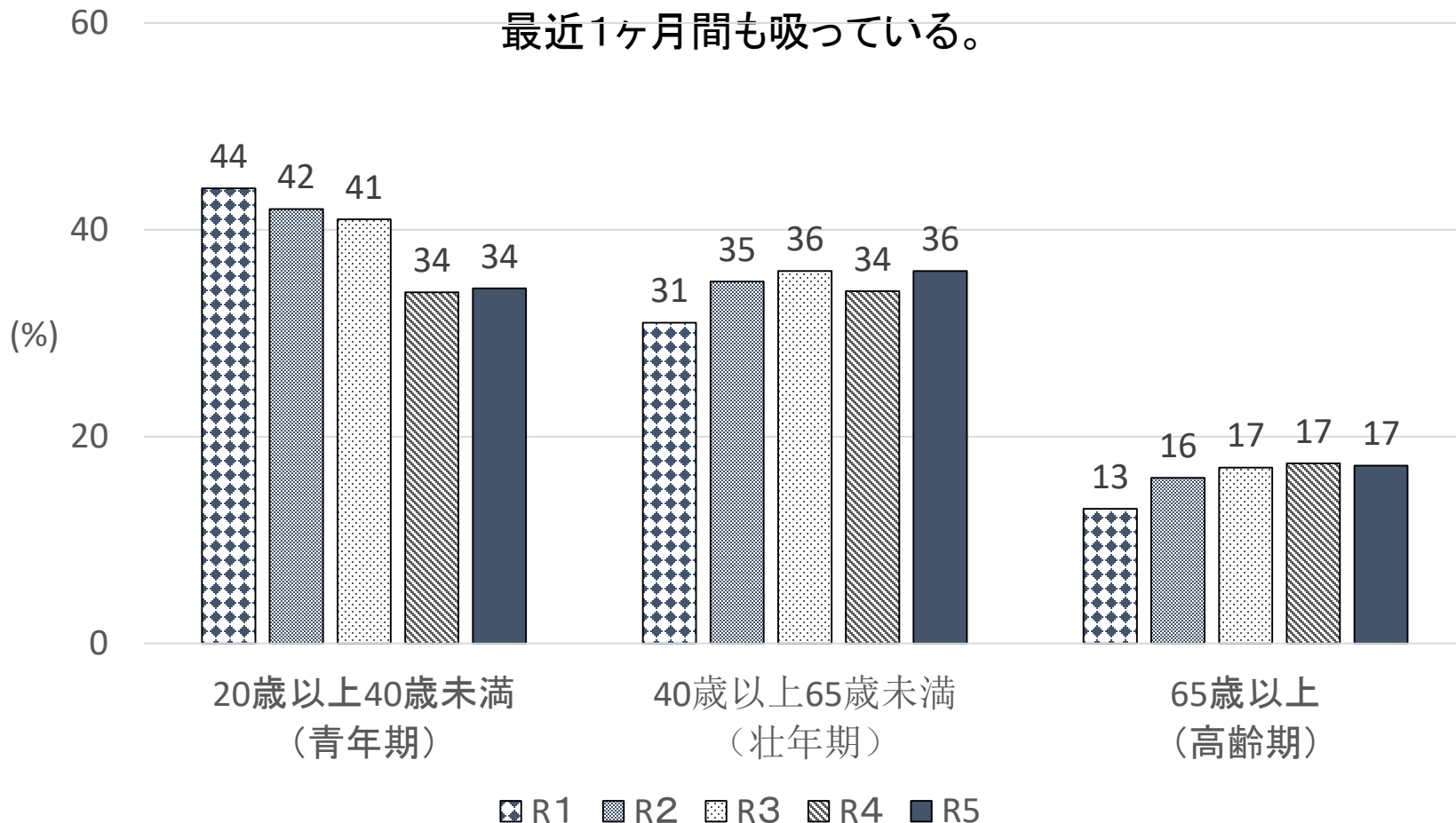


令和5年度は

青年期の29%が朝食を抜くことが週3回以上ある
高校進学後、割合が増加

現在、たばこを習慣的に吸っている(男性)

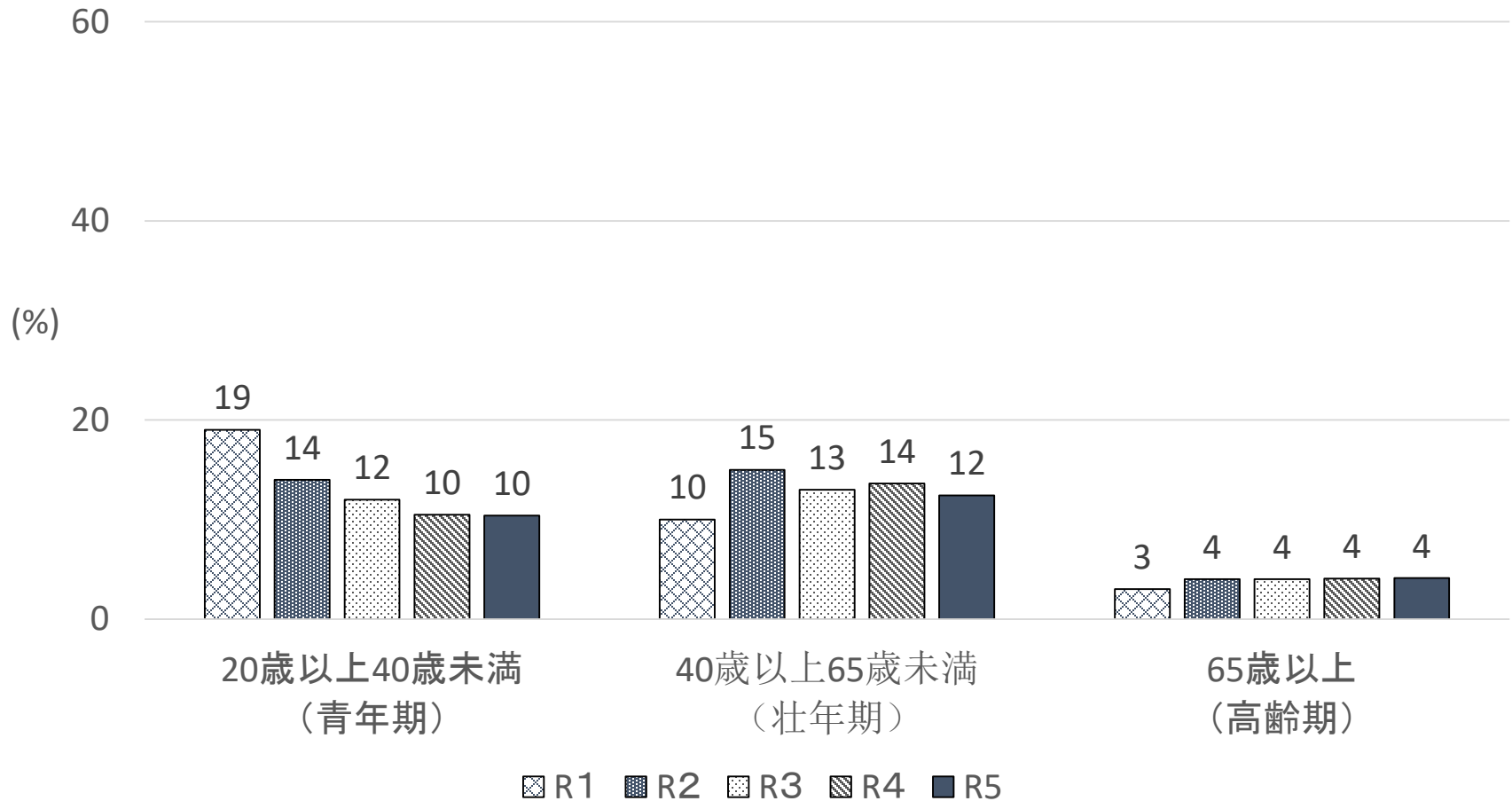
※習慣的:合計100本以上、又は6ヶ月以上吸っていて、最近1ヶ月間も吸っている。



令和5年度は

青年期の34%, 壮年期の36%が習慣的に喫煙している

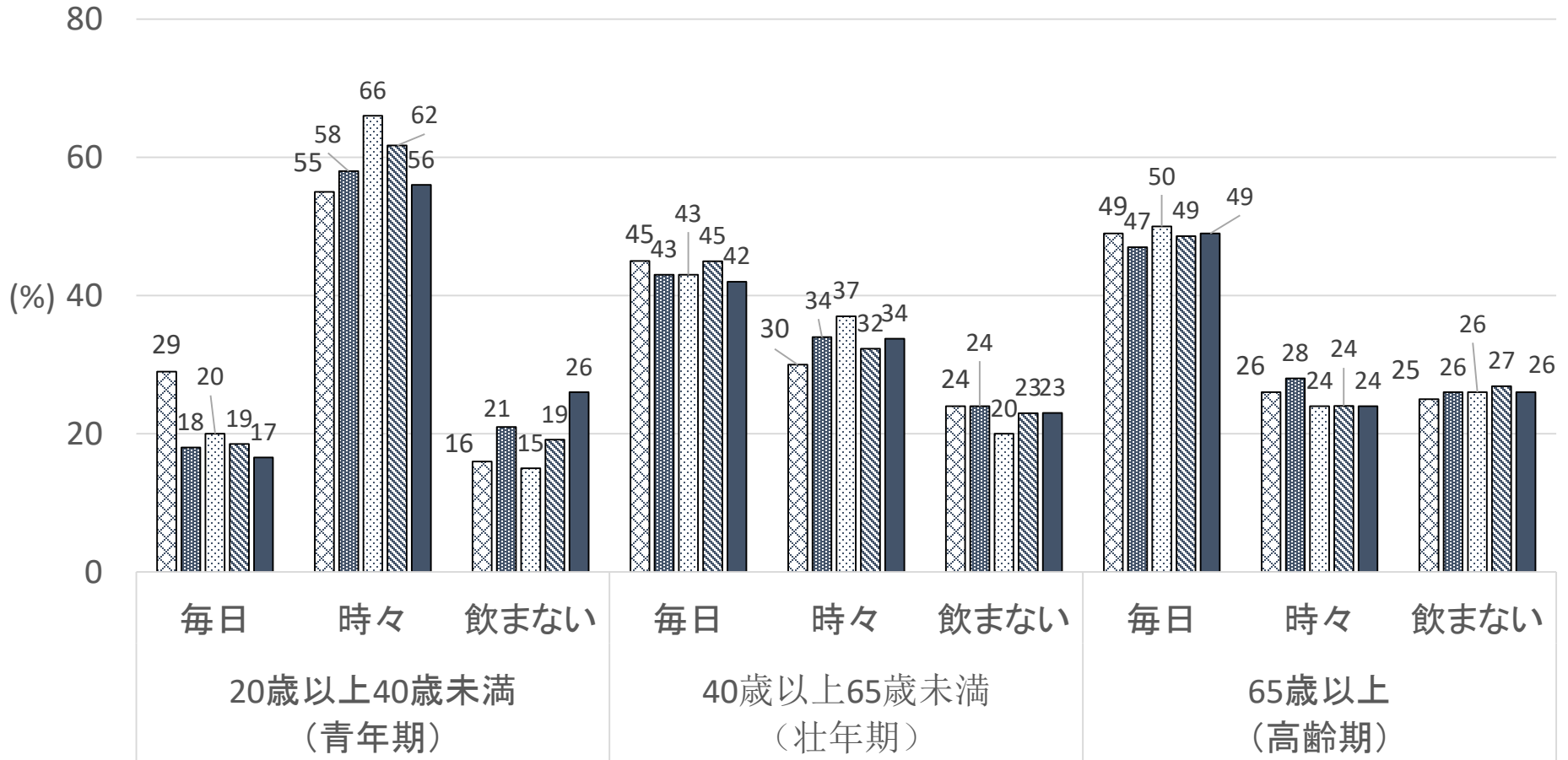
現在、たばこを習慣的に吸っている(女性)



令和5年度は

青年期の10%, 壮年期の12%が習慣的に喫煙している

飲酒の頻度(男性)

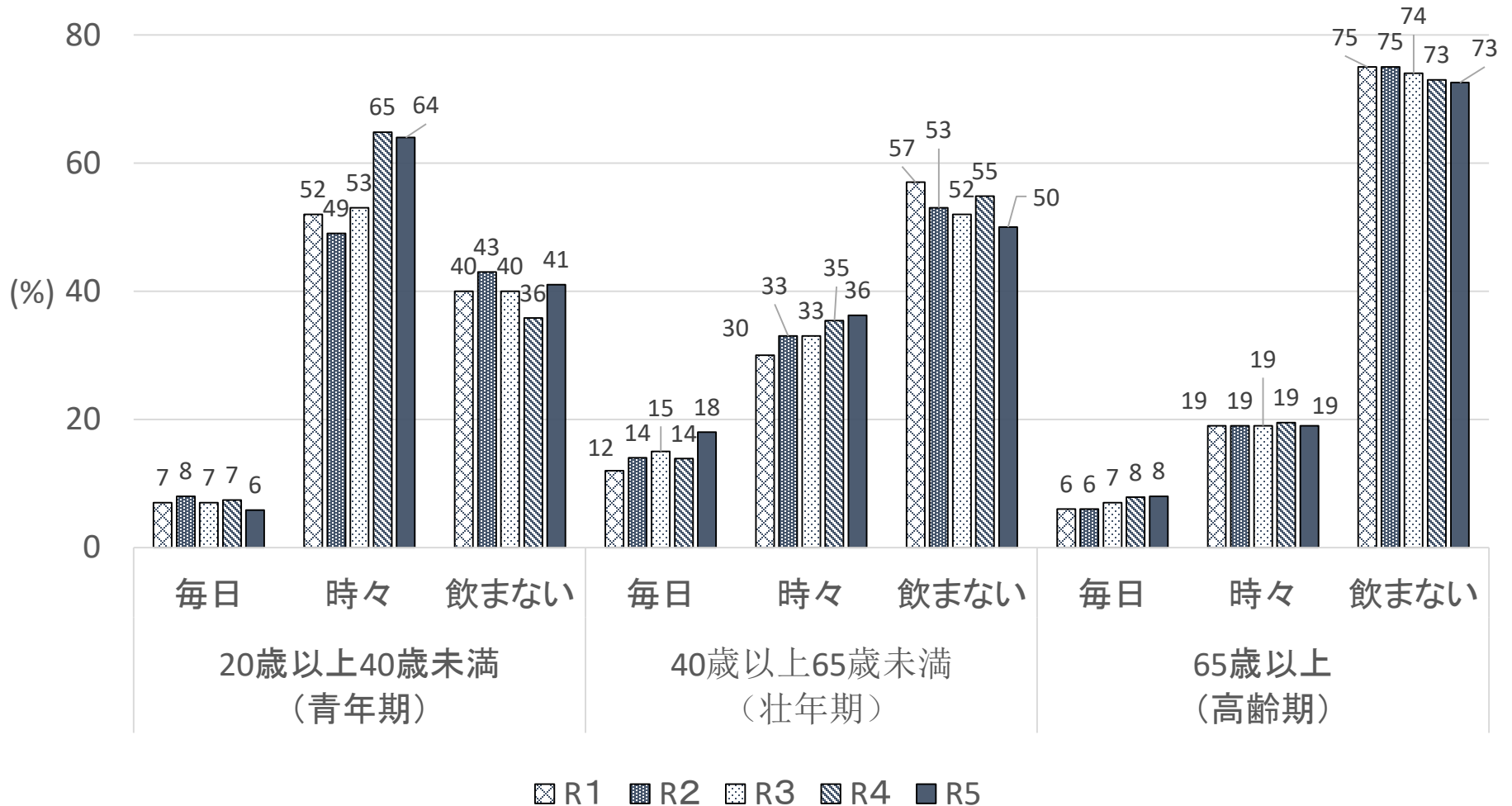


□ R1 ■ R2 □ R3 ▨ R4 ■ R5

令和5年度は

青年期:「時々飲酒する」が高い
 壮年期と高齢期:「毎日飲酒する」が高い

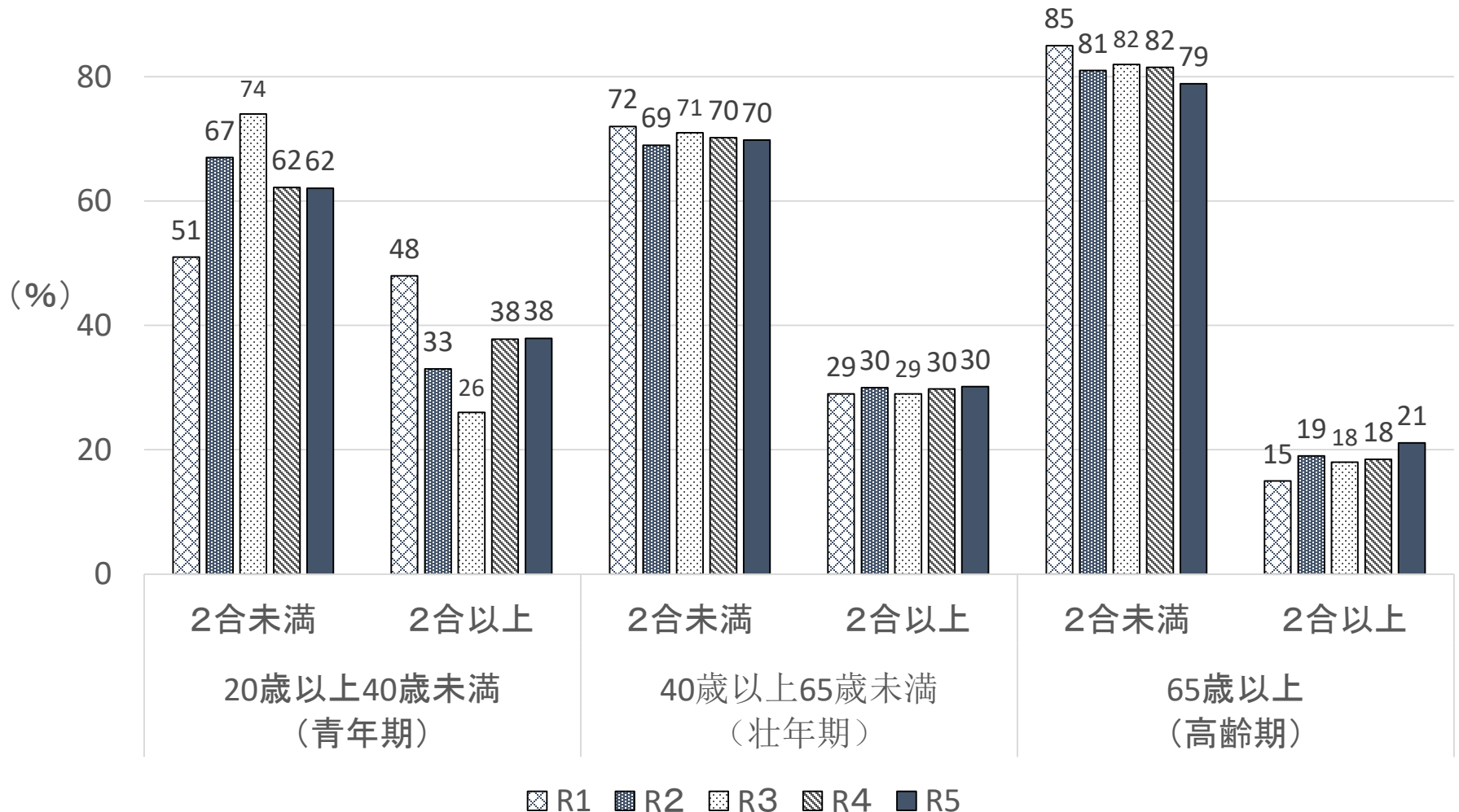
飲酒の頻度(女性)



令和5年度は

青年期:「時々飲酒する」が高い
 壮年期・高齢期:「飲まない」が高い

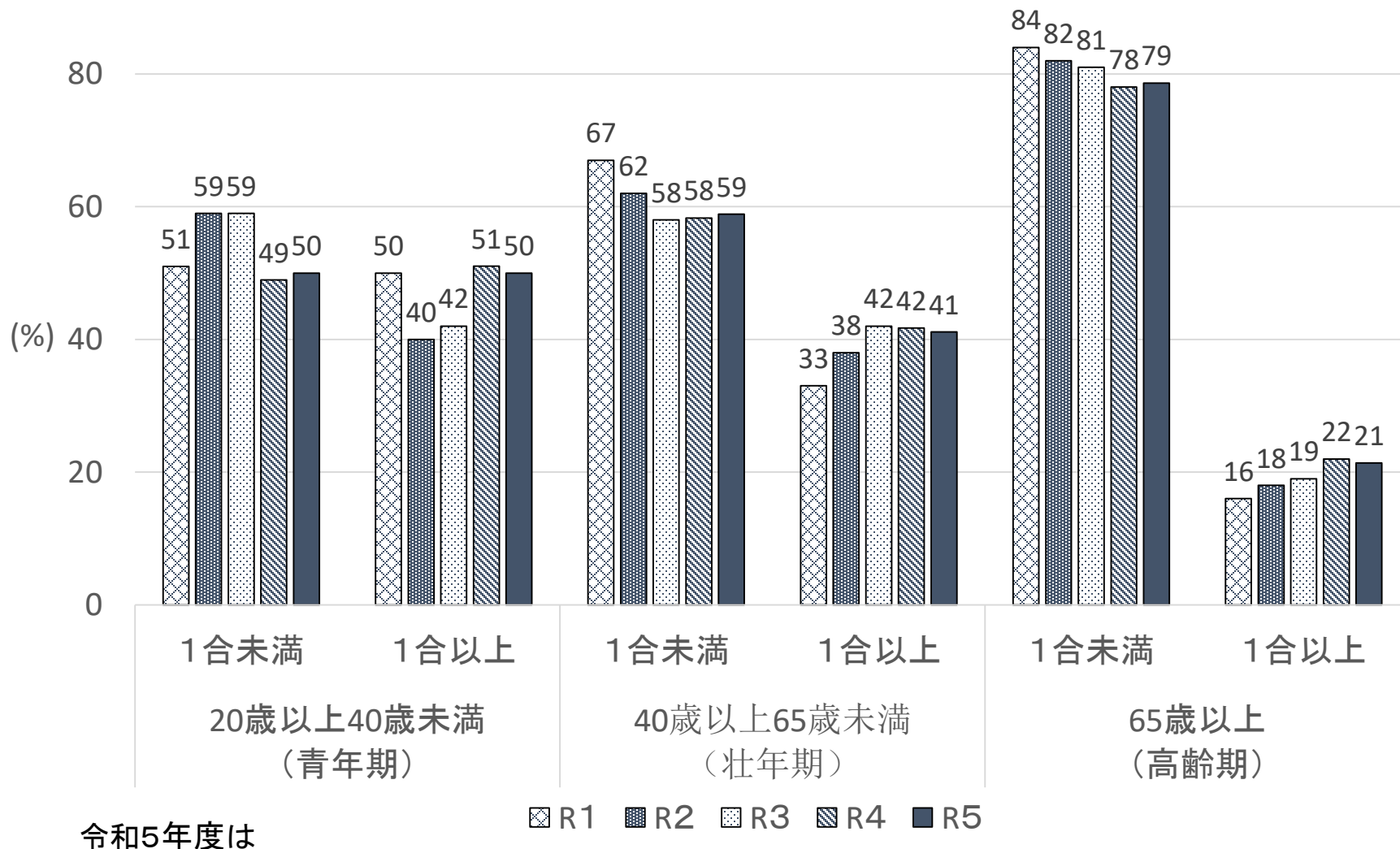
1日あたりの飲酒量(男性)



令和5年度は

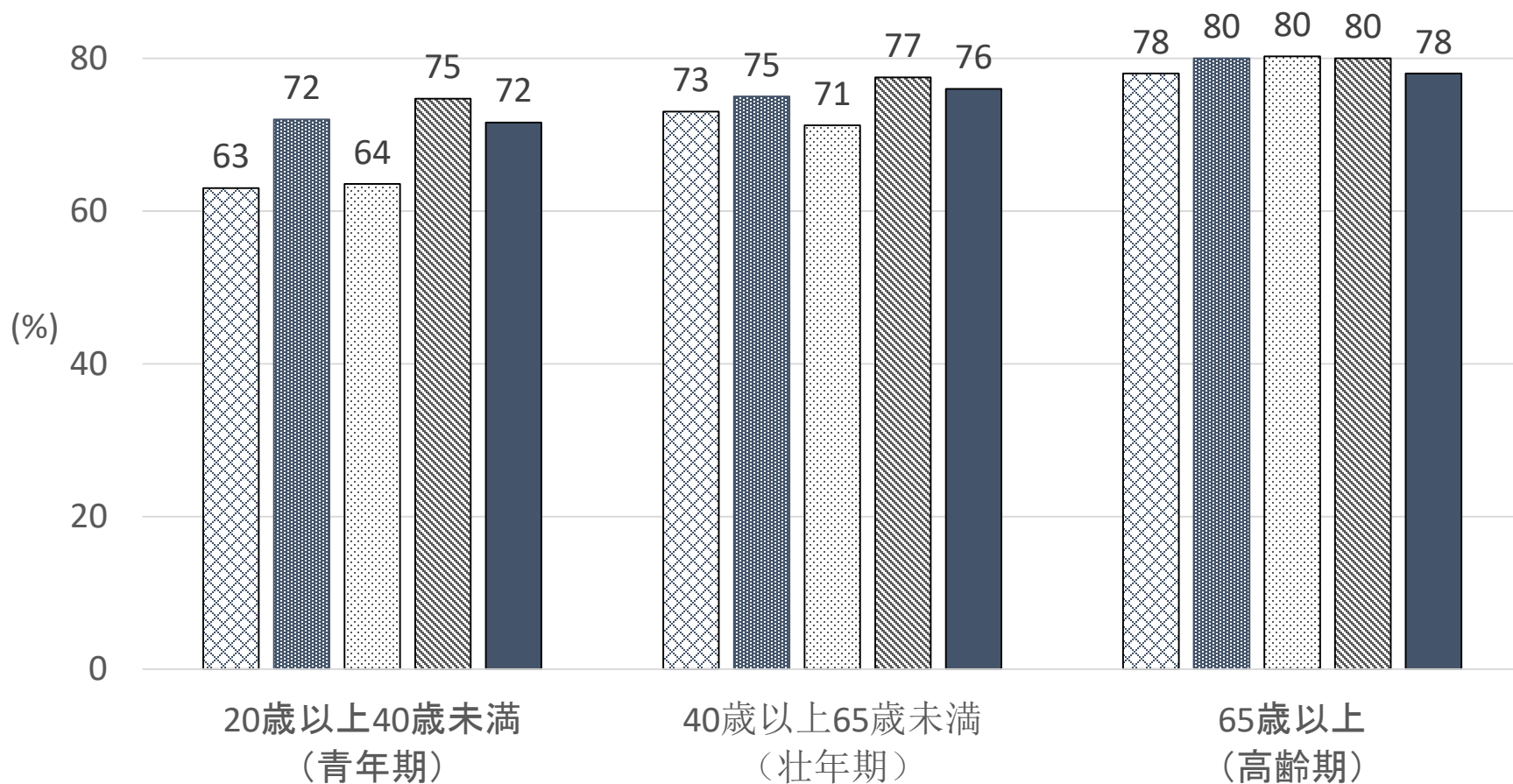
青年期の38%, 壮年期の30%が生活習慣病リスクを高める飲酒をしている
 ※生活習慣病リスクを高める飲酒(男性): 2合以上

1日あたりの飲酒量(女性)



青年期の50%, 壮年期の41%が生活習慣病リスクを高める飲酒をしている
 ※生活習慣病リスクを高める飲酒(女性): 1合以上

睡眠で休養が十分とれている(男性)

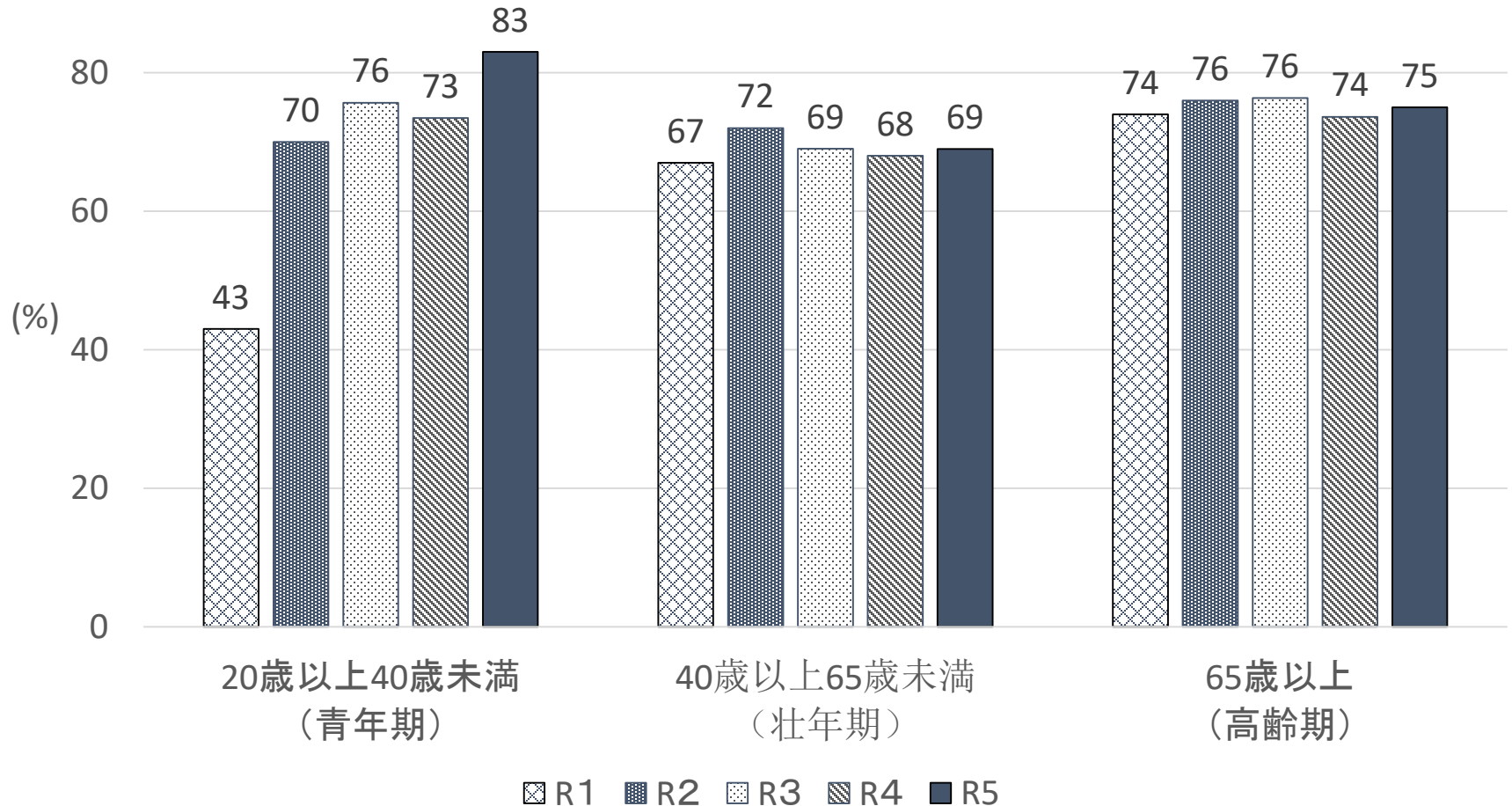


令和5年度は

□ R1 ■ R2 □ R3 ▨ R4 ■ R5

青・壮年期・高齢期で半数以上が睡眠で休養が十分とれている

睡眠で休養が十分とれている(女性)



令和5年度は

青・壮年期・高齢期の半数以上が睡眠で休養が十分とれている